

今後の進め方・ワーキンググループについて

○今後の進め方

第1回 12月17日（金） 9:30～12:30（今回）

第2回 1月31日（月） 9:30～12:30

第3回 3月14日（月） 14:00～17:30

※第2回、第3回の場所は未定。

○今後の議案

第2回

- ・金融機関等の求める環境情報開示
- ・環境経営と環境情報開示の促進策

第3回

- ・規制当局等からの開示検討案
- ・各ワーキンググループの検討状況の報告
- ・中間報告案の検討

※中間報告は第3回の議論を踏まえ、各委員の意見を反映後、確定する予定。

○ワーキンググループ

第3回検討委員会において、ワーキンググループでの検討状況を発表予定。ワーキンググループでの検討事項は、現状の課題と方向性、今後検討すべき事項等になる。3つのワーキンググループの概要は以下のとおり。

※ワーキンググループは、いずれも非公開

① 環境報告ワーキンググループ

- ・検討事項（案）

特にグローバル企業など先駆的な環境経営の取組をしている企業を参考に、将来の環境経営のあり方を示唆すべく、真の環境経営の定義やその度合いを測る為に必要な環境情報開示の全体的な枠組み（フレームワーク）等を検討する。また、真の環境経営度合いを同業他社比較するための課題、環境情報の利用促進を図るための課題等についても検討し、来年度の環境報告ガイドライン改訂に向け検討すべき事項を洗い出す。

・委員名簿

江良 明嗣	日興アセットマネジメント株式会社 株式運用部 企業調査グループ コーポレートガバナンス マネージャー
上妻 義直	上智大学 経済学部教授
小崎 亜依子	株式会社日本総合研究所 創発戦略センター/ESGリサーチセンター 副主任研究員
富田 勝己	パナソニック株式会社 環境本部 環境企画グループ コミュニケーションチーム チームリーダー
堀江 美保	株式会社サステナビリティ会計事務所 コンサルタント
森 洋一	日本公認会計士協会 自主規制・業務本部テクニカルスタッフ
(予定)	富士通株式会社

② 環境会計ワーキンググループ

・検討事項（案）

環境報告の枠組みの検討と並行して、環境側面に焦点を当てた企業価値評価のための財務数値及びその開示方法について検討する。検討においては、社内の意思決定に有用な環境に係る財務情報、ステークホルダーが真の環境経営を財務面から評価するために必要な情報、当該情報の適切な開示方法などを考慮し、既存の環境会計の枠組みを活かしつつ、新たな環境に係る財務数値（環境会計）の算定・開示の方向性を見出す。また、来年度の環境会計ガイドライン改訂に向け検討すべき事項を洗い出す。

・委員名簿

大井 孝光	株式会社日本政策投資銀行 事業開発部 CSR支援室 調査役
齋尾 浩一朗	有限責任 あずさ監査法人 IFRS事業部 パートナー
松尾 敏行	株式会社リコー 社会環境本部 環境コミュニケーション推進室 スペシャリスト
葎嶋 真理	SRIアナリスト
八木 裕之	横浜国立大学 経営学部長

③ 環境情報の開示促進ワーキンググループ

・検討事項（案）

売上が中規模程度（売上1,000億円程度）以下の企業において、環境経営の取組や環境情報の開示を更に促進してもらうために、環境経営及び情報開示のコアとなる部分やその開示について検討する。また、取引先へのCSR調達などの大企業における取組などを参考に、環境経営が普及していく中において想定される課題や課題克服ための方策、環境情報開示がより促進されるための仕組み等についても検討する。

・委員名簿

歌島 秀明	株式会社エフピコ 環境対策室
江藤 一弘	株式会社リコー 社会環境本部 環境経営企画室 環境経営マネジメントグループ グループリーダー
後藤 敏彦	環境監査研究会 代表幹事
宮崎 幸恵	株式会社グッドバンカー SRIアナリスト
森下 研	株式会社エコマネジメント研究所 代表